

3.11を忘れない・・・

安心して、ずっと住みたいまちづくり

牛久市総合 防災訓練を 実施しました

平成25年11月23日に、「安心して、ずっと住みたいまちづくり」をスローガンに、牛久市としては初めての総合防災訓練を行いました。

この総合防災訓練は、茨城県南部を震源とする直下型地震が発生し、牛久市では震度6強（茨城県南部地震が発生したという想定で、市と市民・各関係機関などが連携し一体となって行ったもので、約1200人が

参加しました。

訓練では、午前8時に市民が一斉に避難行動をとるシェイクアウト訓練（初動時対応訓練）を行いました。全市民を対象とする初めての訓練であり、日ごろの防災対策を確認するきっかけづくりとなりました。

その後、牛久小学校と牛久第三中学校では発災時対応訓練を実施。牛久小学校グラウンドでは災害対策本部を設置、災害情

報収集訓練、住民避難訓練、避難所の開設・運営訓練、応急救護所の開設・運営訓練、倒壊家屋からの救出・救護訓練、負傷者の搬送訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練などが行われ、地域の防災力をより高めました。牛久市では、今後も定期的に総合防災訓練を行っていきますので、引き続き皆さんのご協力をお願いします。

問 危機管理室 ☎内線1691



茨城県内で初めて実施したシェイクアウト訓練

■シェイクアウト訓練

午前8時、訓練開始を告げる緊急地震速報が、防災行政無線、かつばメール、エリアメールで市内全域に発信され、一斉に机やテーブルの下に隠れ体を保護するシェイクアウト訓練（初動時対応訓練）を行いました。

■災害対策本部設置

市職員が牛久市役所から牛久小学校に移動し、学校グラウンドで災害対策本部を本部要員、事務局をもって設置しました。

■災害情報収集訓練

被害情報を把握するために、市の被害情報収集班、牛久市消防団や牛久消防署の被害情報収集班が7行政

■住民避難訓練

7行政区約900人が自主防災組織や防災会の誘導を受け、牛久小学校および牛久第三中学校の避難場所（体育館）に徒歩で避難しました。



災害対策本部を設置した池辺勝幸市長



住民避難訓練



災害情報収集訓練

